

炭素薄膜で均一に被覆された無機ナノ多孔体の合成とその応用

京谷 隆 教授（東北大学多元物質科学研究所）



2014年10月20日（月）13:30—14:30

創成科学研究棟4階セミナー室A

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

メソポーラスシリカやアルミニウム陽極酸化皮膜等は均一に制御されたナノ孔をもつ機能性材料であり、様々な分野で応用されている。しかし、活性炭などと違い絶縁体なので電気化学的分野での応用はできない。そこで、無機ナノ多孔体の細孔内壁に均一に炭素薄膜を被覆する方法を開発し、制御されたナノ孔をもつ電気伝導性の複合多孔体を合成した。講演では炭素被覆の方法とともに、合成された多孔体の電極としての応用等を紹介する。

問合せ先： 触媒化学研究センター・福岡 淳 (fukuoka@cat.hokudai.ac.jp・011-706-9140)

略歴

昭和57年3月 東北大学大学院工学研究科博士課程応用化学専攻修了

昭和57年4月 東北大学非水溶液化学研究所(現:多元研)助手

講師,助教授を経て

平成16年4月 東北大学多元物質科学研究所 教授

平成14年1月より平成25年12月まで Carbon誌,Editor

平成17年3月 日本化学会学術賞

平成21年4月 文部科学大臣表彰科学技術賞

平成23年1月より 炭素材料学会会長